



～第3号～ 穂肥編

7月の平均気温は、高い確率80%です。

高温時の屋外作業はなるべく避け、こまめな休憩と水分補給を心掛けてください。

1. 病害虫防除

◎イネカメムシ

- ・出穂期に穂を吸汁し、不稔となる
- ・出穂期に水田に直接飛来する
雑草地は経由しない



イネカメムシ

《対策》

- ・出穂期に農薬散布する

◎斑点米カメムシ

- ・穂を吸汁し、
斑点米を引き起こす
- ・畦畔のイネ科雑草に
飛来する



《対策》

- ・出穂10日前までと
出穂期ごろに、畦畔の草刈りをする
- ※出穂直後の草刈りは逆効果
- ・出穂7～10日後に農薬散布する

斑点米カメムシ類
出典：京都府病害虫防除所

2. 水管理

出穂30日前を目安に中干しを終了し、走水の後、
間断かんがい（自然減水→足跡の水がなくなる頃に再入水）
を行う

出穂前後20日間は湛水する

出穂

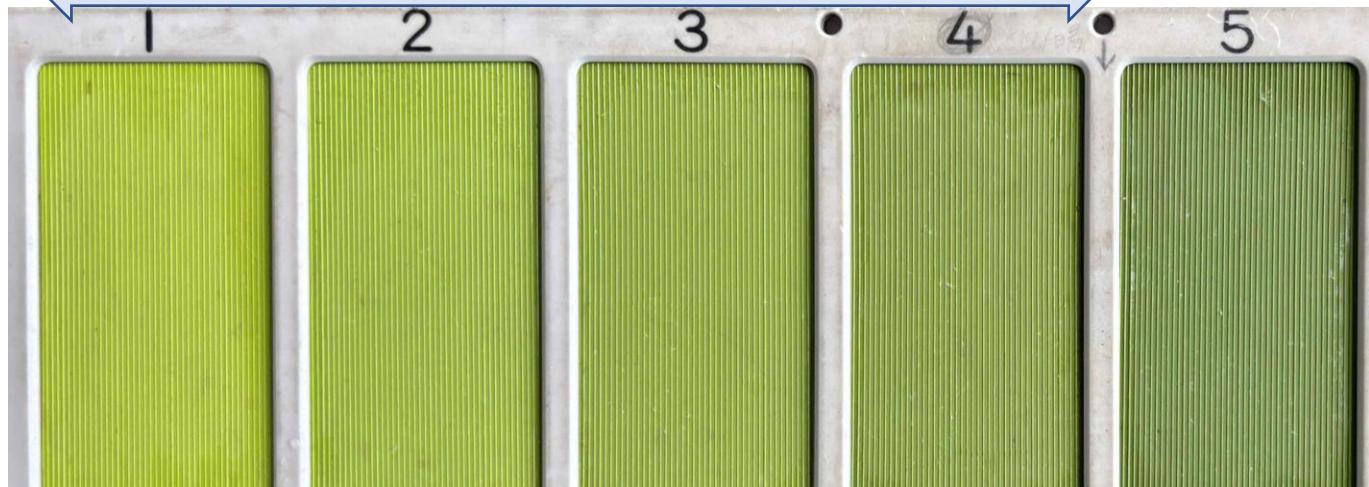
間断かんがい

出穂前後20日間は湛水



4. 穂肥量 ※きぬむすめ 一発施肥体系の場合

葉色5.0以下で窒素1~2 kg/10 a



葉色板の使い方 ※穂肥時期に葉色の確認をする

- ①天気のよい朝方～10時ごろに葉色をチェックする。
- ②太陽を背にした状態で、一番新しい葉から2～3枚目の葉の中央を葉色板に重ねる。

5. 穂肥時期

	穂肥時期		備考
	一発型肥料	一発型肥料以外	
1回目穂肥	施用なし ※葉色薄ければ 施用	出穂21日前頃 1回目の10日後	穂数を増やす 穂の登熟を良くする
2回目穂肥			

◎出穂予測日と穂肥施用時期目安 (木津川市 7月3日時点)

田植え日	きぬむすめ		ヒノヒカリ (標準)	
	穂肥	出穂予想	穂肥	出穂予想
	1回目 (出穂日-25)		1回目 (出穂日-22)	
5月25日	7月18日	8月12日	7月30日	8月21日
5月31日	7月21日	8月15日	7月31日	8月22日
6月7日	7月25日	8月19日	8月3日	8月25日
6月14日	7月28日	8月22日	8月5日	8月27日
6月21日	8月1日	8月26日	8月8日	8月30日

営農ソリューション・ポータルサイト「Amoni」を使用

ほ場住所・田植え日・苗の種類を入力することで、出穂期などが予測できます。※会員登録が必要

※夏季の高温が続くと、上記の予測よりも早まる可能性あり